

目次

ごあいさつ	2
平成20年度中間決算概要	3
第13次中期経営計画の進捗について	5
地域のベストバンクを目指して	7
資料編	16
連結情報	17
単体情報	25
自己資本の充実の状況等について	52
組織図	67
店舗ネットワーク	68

当行のプロフィール

創	立	／	昭和18年3月
総	資	産	／ 3兆2,051億円
預	金	／	2兆9,739億円
貸	出	金	／ 2兆1,477億円
資	本	金	／ 497億円
発行済株式総数	／	普通株式	290,855千株
自己資本比率	／	11.26%	(国内基準、単体)
行	員	数	／ 1,976人
(平成20年9月30日現在)			
店	舗	数	／ 260カ店(有人店舗 118カ店・無人店舗 142カ店)
(平成20年12月1日現在)			





取締役会長
綿貫 弘一

取締役頭取
小島 信夫

ごあいさつ

いつも「アルファバンク」京葉銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

本年も、私どもに対する皆様のご理解を一層深めていただけるよう中間ディスクロージャー誌「2008京葉銀行中間レポート」を作成いたしました。当行の経営方針や業務内容、地域社会とのふれあいについてできるだけ分かり易くご説明させていただくことを心がけました。ご参考にしていただければ幸いに存じます。

私ども金融機関を取り巻く経営環境は、「百年に一度」と形容される金融危機に見舞われ、その影響は実体経済においても顕在化しております。特に製造業を中心に大幅減産と人員削減が顕著となり、個人消費も伸び悩みを示すなど、景気は後退局面に入りました。

このような環境の中、当行では平成19年4月から平成21年3月の2年間を地域のお客様と共に発展していくための非常に重要な期間と位置付け、第13次中期経営計画「 α ACTION PLAN 2009」を推進中です。締め括りの期となる平成20年度下期についても、銀行業務の基本である「預金と貸出を中心とした当行伝統の堅実経営」を貫くとともに、コンプライアンスの強化とリスク管理体制の確立を図ることにより、経営課題である「お客様、株主からの厚い信頼の獲得、地域社会への貢献と従業員満足度の向上」、「地域の活性化に向けた取組み」、「経営管理体制の強化」、「収益力の強化」を実現してまいります。

これからも皆様からの厚い信頼を未来へと繋げていくために、地域社会にお役に立てる銀行として、役職員一同、より一層の努力を重ねてまいります。

引き続き、皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

取締役会長 綿貫 弘一

取締役頭取 小島 信夫